

境港国際コンテナターミナル施設概要

1 概要

境港国際コンテナターミナルは、増大するコンテナ貨物に対応するため、コンテナを効率的に取扱うためのガントリークレーンを山陰地域で初めて設置した本格的な国際コンテナターミナルです。また、近年の船舶大型化に対応するため、最大5万トン級の船舶係留機能を備えています。

境港管理組合では当ターミナルを環日本海時代の西日本の玄関口である境港の物流拠点施設として、山陰地域初の指定保税地域の指定を受け、環日本海交流の促進と地域経済の活性化に寄与することを目指しています。

2 整備期間と事業費

(1) 国直轄事業 【水深14m岸壁(5万トン岸壁)】(暫定水深13m使用)

整備期間 平成7年度～平成15年度

事業費 約54.7億円

(2) 境港管理組合事業【ふ頭用地造成(コンテナドック整備)及びガントリークレーン設置】

整備期間 平成12年度～平成16年度

事業費 約27.3億円

3 施設概要

(1) 国際コンテナターミナル面積 約65,600㎡

(参考) 東京ドームグラウンド面積(13,000㎡)の約5倍

水深14m岸壁(5万トン岸壁) 約11,200㎡ (L=280m)

コンテナヤード 約54,400㎡

荷役機械: ガントリークレーン 1基(吊り上げ荷重46.1トン)

4 整備効果

船舶の大型化により海上輸送コストが削減されます。また、貨物の荷さばきや一時ストックに必要なふ頭用地を適切に配置することにより港から背後圏へ円滑に貨物を輸送することが可能となり、物流の効率化に寄与します。

5 施設配置図 別紙

